

すべてを捨て、ただ一人往く。

# 夜明けを信じて。

製作総指揮・原作 大川隆法

10.16  
Roadshow

田中宏明 千眼美子 長谷川奈央 並樹史朗 崩塚俊介 芳本美代子 菅川よしみ 石橋保

監督／赤羽博 音楽／水澤有一 脚本／大川咲也加 製作／幸福の科学出版 製作協力／ARI Production  
制作プロダクション／ジャンゴフィルム 配給／日活 配給協力／東京テアトル © 2020 IRH Press  
 ニュースター・プロダクション  
<https://yoake-shinjite.jp/>

誰もいないこの道を進むしかなかつた。

自分自身と「内なる声」だけを信じて

目に見えない世界の真実を伝えるために。

約束された将来も、友も、愛するひとさえも——  
すべてを捨て、私は立ち上がった。

INTRODUCTION

四国小さな町に生まれた青年が、靈的世界の真実にめざめ、さまざまな人生経験を積み、やがて宗教家として立つまでの心の軌跡を描いた本作。製作総指揮・原作は大川隆法。脚本は「世界から希望が消えたなら」(19年/日活)「心霊喫茶『エクストラ』の秘密」(20年/日活)で数々の映画賞に輝いた大川咲也加。主人公・一条悟を演じたのは田中宏明。新人とは思えない透明感にあふれた演技に目を奪われる。悟に想いを寄せる立花美穂には千眼美子、初恋の女性・水瀬千晶に長谷川奈央。さらに並樹史郎、窪塚俊介、芳本美代子、芦川よしみ、石橋保などの俳優陣が集結。監督は赤羽博——その見事なチームワークによって、時代を超えて語り継がれるべき感動作が誕生した。



STORY

1991年7月15日、東京ドーム。この日、宗教家・一条悟の大講演会がはじまろうとしていた。マスコミも大々的に報じ、日本中が注目する一大イベントの模様をレポートしているアナウンサー・立花美穂。そのテレビ画面を見ている裁判官の水瀬千晶。そして郷土の母や学生時代の友。さらにつかづけの会社員時代の同僚や上司たち——それぞれの胸に去来する悟との日々が回想される——四国小さな町に生まれ、一流大学を経て大手商社に就職。若くして社長候補と期待されるエリートの道を歩みながら、突然退職し、姿を消した一条悟。なぜ彼は、約束された将来を捨て去り、宗教家になることを選んだのか。どうして愛する人たちにも何も告げずに、ただ一人往くことを決めたのか——そして、いよいよ大講演会の幕が上がりはじめる。

10.16 ROADSHOW